

堀内先生 ①

教科書の単元（国語）

（宇都宮市の未来 提案）

- 教科横断的な学習
（国＋総合）新聞記事
活用
プレゼンテーション（提案）
意見交流

○ 宇都宮市長に 提案

- 日常的なNIE

「自分事」

井上先生

根幹

②

- 自分の住む地域と他の地域、
比較（解決方法をリアルから）
授業風景（写真）
↑
記事

- 複合施設の計画への意見
市長に提出

学んだことによって
子供が獲得した考え

- 日常的なNIE

大塚先生

③

「当事者意識」

→
くり返して

意識を高める。

国政選挙... 事前学習・模擬選挙

1面に記. 党首第一声. マニフェスト
比較

○ 国会議員への質問

「分からない」「私たちが行かなければ

「自分が議員を
変える」

いけない」

↓
子供の意識変容

「地方選挙」と「国政選挙」で分ける

3事例の
まとめ

教科書单元なども生かす

④

無理せず

継続的に
社会の課題に接し

記事も活用

(地域
全国)

行動する。

プレゼン・提案 など

模擬選挙

(模擬議会)

⇒ 意識を変える。

③ 小

⑤

① 外国籍の子供 ↗

新聞の活用の工夫 · 写真の活用
(~~見出し~~)

② 読解力 ↘

↓
成果

読まない、書けない、"読んで、コメントを書く"

問題を作る、子供に作らせる◎

ワークシート

③ 自分事にする

新聞・テレビ...

まずは、自分の考えもつ。

地域の課題、日常生活の課題

①

⑥

課題意識 校種によて異なる
議員につなげる

・ 系統性

① 未来 明子く
② リアル 課題
③ 発信 的



〈具体案〉

・ 中・高の交流 小・中も

・ 議員につなげる難しさ

市岳、政党バランス

政治的中立性

・ 教科横断的

SDGs ...

ボテルスハイコンセンサス
主権者教育も

・ 地域・全国ニース

複教科の読み比べ

E

① 「資料の準備」

新聞 ← インターネット検索
→ データベースの活用

② 「外部とのかかわり」
外部からの評価。 「投稿」

③ 「自分事」

子供から大人への発信の
アプローチの必要性

大人が子供の意見に「傾聴する」

①

⑧

選管との協力.

社会科学以外、先生の取り組み

主権者教育を「公民」として

歴史・地理、視点からも

学校組織としての取り組み

行政との連携

(選管)

質疑

⑨

・ 投票率 → 理由

- 解決の方法. (大人の)政治家の魅力?
- 新聞の読者と投票の相関
- 新聞が誰かに向けて発信しているか?
- 選挙報道が活用しにくい.
↳ 情報が伝わらない.

↓ 「どうせ投票しても、変わらない」

「よく分からないので、投票しては
いけない」

⇒ 「投票率を上げることから、

「投票の質を上げる」ことへ

《まとめ》

⑩

・ 組織的な取り組みを

—「公共」だけではなく—

全教職員で、幼・小・中・高・大で、
学校・家庭・地域で

・ 足元から

地球規模の視点から

—「同心円的な拡大」だけではなく—

・ 日常的な取り組みも

—「授業」だけではなく—

日常的に新聞を読む子供に
育てたい